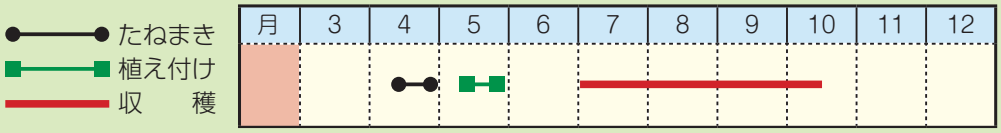
オクラ　育苗期の低温に注意

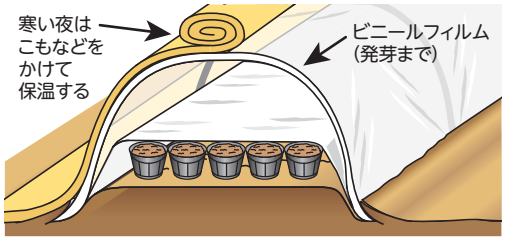
繊維質、カルシウムや鉄分などのミネラルを含み、夏バテ防止にも一役かう夏が旬の野菜です。



①苗作り

ポットに種を3~4粒まき、本葉3~4枚の2本立ちにして、しっかりした苗に育てます。低温には非常に弱いので、ビニールトンネルなどで被覆し、寒い夜はこもなどをかけて保温に努めます。

ビニールフィルムトンネル



②畑の準備・植付

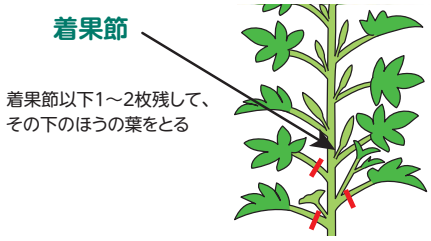
1株当たり油粕大さじ5杯、堆肥4~5握り、化成肥料大さじ3杯程度を施用し、よく起こします。幅30㎝で植え付け、株の周りにたっぷり水を与えます。

育苗期から畑に植えだすころの低温にはきわめて弱く、油断すると落葉して育ちが一向に進まないことがあります。育苗中には保温に努め、植え付けは十分暖かくなってから行い、フィルムマルチなどで地温を高めましょう。

畝(うね)立てをして水はけをよくしておくことが大切です。

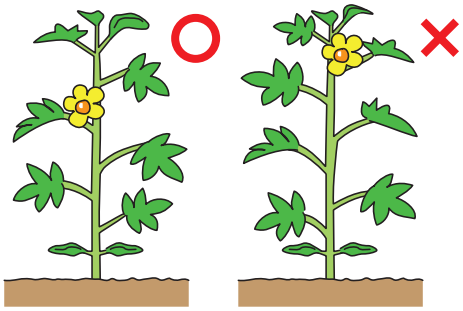
③栽培のポイント

生育盛りになると葉が大きくなり、下方の側枝が伸びてきて茎葉が込み合うので、下方の葉を適宜摘み取り、風通りや日当たりをよくしてやりましょう。



敷き藁(わら)・・・日光が強く土が乾燥するころには敷き藁(わら)して乾燥を防ぎましょう。

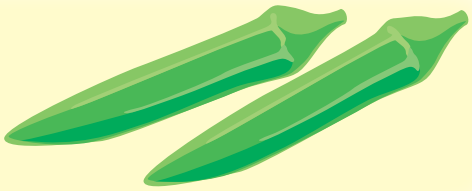
追　肥・・・収穫が始まったら20日ごとくらいに化成肥料を少しばらまきましょう。



花が頂部に近いところで咲くのは栄養不良によっておこります。果実を思い切って若どりし追肥しましょう。

④収穫

開花後7~10日くらいで長さ6~7㎝のころが収穫適期です。必ずはさみを使って小まめに収穫し、株の負担を少なくしましょう。



栽培について

営農指導員、最寄りの購買店舗職員にお尋ねください。種・肥料・農薬などの生産資材のお買い求めは最寄りのJA購買店舗をご利用ください。

営農よろず相談のご案内

「営農よろず相談」では、
・農作物の栽培方法に関すること
・病害虫の防除に関すること
などを中心にご相談を受け付けております。
何かお困りのことがありましたら、身近な相談先としてぜひ一度ご利用ください。

- **電話番号**　(097)544-6462（むよろず）
  ※通話料は相談者負担となります。おかけ間違いの無いよう、ご注意ください。
- **受付時間**
  月・水・金曜日(祝日は除く)8:30~17:00
  (受付時間以外の時間帯は、留守番電話となります)
- **設置場所**　営農部